

企業・団体



アイクラフト株式会社

事業

オープンソースオフィススイート「LibreOffice」利用支援およびリナック

スパソコン「LibrePC」の販売

概要

現代のほとんどの業務はパソコンを利用して進められている。パソコン業務に不可欠なオフィススイートソフトウェアやパソコンの基本 OS に、オープンソースソフトウェア（OSS）を利用することで、次の 2 つのメリットが生まれ地方創生に資することになる。

- OSS の関連ビジネスを各地方に興すことができる
- 自治体等での IT システムに係るコストを下げるができる

OSS とはコンピュータソフトウェアの設計図であるソースコードがオープンであり、分析・再配布・改変が自由に行えるソフトウェアである。この OSS の精神や潜在的可能性は、総務省が推進している『オープンデータ戦略』の意義・目的と“オープン化”のメリットを追求する点で共鳴しあうものであり、特に経済の活性化を目指す部分においては、様々な新ビジネスの創出や企業活動の効率化等、同じ力学を想定している。

なお、当社は OSS に関する次の 2 つのサービスを行っている。将来的には、各地の IT サービス会社と提携することで、これらのサービスを全国各地で提供する体制を整えていきたい。

1. OSS の代表的なオフィススイートソフトウェア「LibreOffice」の利用サポート。特にソースコード改変まで対応できる「レベル 3 サポート」の提供は当社が日本で唯一である。
2. 基本 OS と各種ソフトウェアを OSS で構成するパソコン「LibrePC」の提供。基本 OS にはリナックス、オフィススイートには「LibreOffice」を採用し、インターネットブラウザ・電子メール、デザイン、画像処理といった一通りのソフトウェアをすべて OSS で構成するパソコンである。

効果・成果

1. ビジネス創生

OSS ではソースコードが公開されているので、IT サービスを提供する各地の会社は、自由に支援サービスを開発し顧客企業に対して提供することができる。OSS の利用促進は、このようにして関連ビジネスを全国各地に興す土壌となる。

2. コスト削減

OSS は製品としての購入コストが不要、利用数量に関わらずライセンス費は不要という特性をもつ。したがって、OSS を利活用することにより IT システムに係る導入コスト・通常運用コストを軽減することができる。

特に、各自治体では個人番号（マイナンバー）制度関連業務を

行うにあたり、業務パソコンとインターネット利用パソコンを分離する必要性が高まっている。

LibrePC は後者のパソコンとして安価に導入でき、特に仮想端末型 LibrePC (VDI) は、1 台の物理サーバに 100 台程度の仮想端末を格納する構成が可能で、スペース効率面でのメリットも大きい。

3. 長期利用

商用ソフトウェアでは、ベンダーによってサポートの打ち切り・新バージョンへの乗換が必須とされることがあり、IT システムの実質寿命が、機器の物理的な耐用年数ではなくソフトウェア側の事情で決まるケースも多い。OSS ではソースコードがオープンであるので、ベンダーとは関係なく保守を各地の IT サービス会社が独自に継続していくことができる。なお、当社の LibreOffice サポートでは、ロングタームサポート版という、同一バージョンを長期間、安定利用するためのソフトウェアも提供できる。

イメージ図



(参照)
<http://LibrePC.jp>

担当部署

アイクラフト株式会社（兵庫県神戸市中央区京町 83 番地 KDC 神戸ビル 13F）

担当者：顧客サービス部 大久保 正彦 Tel: 078-391-2900, E-mail: librepc@icraft.jp

URL: <http://www.icraft.jp/>